

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2013.8.5 No.173 連絡先 FAX 042-555-1911



空軍オスプレイの配備先 横田基地が有力候補 日米政府が協議中



米太平洋空軍のカーライル司令官は 29 日の会見で、空軍仕様の新型輸送機 CV22 オスプレイの日本での配備先について、嘉手納基地とともに横田基地も候補に上っている事実を明らかにしました。さらに「沖縄については課題がある」と地元の反対に言及したうえで、「横田には恐らく（配備先として）相当の可能性がある」との見方を示しました。司令官は、日米両政府が協議中だと明言。配備先は 2014 年初頭までに決めて、2015 年には配備したい意向。

事故率最悪の CV22 オスプレイ…特殊部隊の投入や回収を任務とする CV22 は、苛酷な戦闘を想定した激しい訓練を行います。嘉手納でも横田でも配備されたら、日本全国が危険に巻き込まれます。（写真：2010 年 4 月、アフガニスタンで墜落した CV22 の残骸。米空軍の事故調査報告書より）

横田基地対策連絡会が CV22 オスプレイの横田配備の撤回を要請

横田基地周辺の立川・昭島・福生・武蔵村山・羽村市、瑞穂町で構成する横田基地周辺市町基地対策連絡会は 7 月 30 日、以下の要請を、外務大臣、防衛大臣、北関東防衛局長宛に行いました。

《本日、米太平洋空軍司令官の記者会見時の発言として、米空軍仕様の垂直離着陸輸送機 CV22 の日本での配備先について、米軍横田基地が有力な候補地であり、日米両政府間で協議中との報道がありました。これまで、米空軍による CV22 の我が国への配備計画すら明らかになっていない中での、こうした報道はまさに寝耳に水の話であり、誠に遺憾であります。

横田基地は、人口が密集した市街地に所在しており、かねてより航空機騒音に悩まされ、また、周辺住民の日常生活での不安が続いております。

これまでも、横田基地周辺市町基地対策連絡会では、MV22 の横田基地への一時配置並びに訓練飛行等に対し、二度にわたり中止等を求める要請を行ってまいりました。今般の報道内容が事実とすれば、横田基地への配備が検討されていること自体、極めて遺憾なことであり、到底容認できるものではありません。

ついでに、垂直離着陸輸送機 CV22 の横田基地への配備検討の撤回を求めるものであり、日本政府におかれましても、米国政府に対し、このことを強く求めるよう要請します。》

M V22 オスプレイ 普天間基地に 12 機追加 配備後は 24 機に！



普天間基地に追加配備の MV22 オスプレイ 12 機は 7 月 30 日、岩国基地に陸揚げされました。8 月 3 日午後には、2 機が岩国を離陸し、4 時半過ぎに普天間基地に着陸しました。あと 10 機は 5 日以降に移す予定。米海兵隊は計 24 機を普天間基地で運用する計画です。沖縄県は強行配備だと反発。

基地のゲート前には、早朝から追加配備に反対する市民らが詰めかけ、「オスプレイ配備絶対反対。」「撤去しかない。言語道断」などと語り、強く抗議していました。

日米合意に違反のオスプレイ飛行に 防衛省「違反確証なし」 (No. 173 裏面)

沖縄県は、普天間基地のMV22 オスプレイによる日米合意違反の飛行が、配備後の昨年10月と11月で318件あったとして、昨年末に防衛省に検証を要請していました。

防衛省は7月30日、MV22 オスプレイが違反飛行を行ったとの沖縄県の指摘について、午後10時以降の夜間飛行3件については「運用上、必要があるもの」で、違反ではないとし、人口密集地での飛行についても違反飛行は確認できなかったとして、318件すべてで「違反しているものがあるとの確証は得られていない」と結論付け、沖縄県に報告しました。オスプレイが違法で危険な飛行をしても「違反なし」とする防衛省に、「国民の命を守る」と言う資格はありません。

横田基地の米軍属等による暴行被疑事件について (続報)

米軍属(A)とその息子(B)による暴行事件の続報。日時は7月14日(日)午前1時頃。場所は福生駅前のタクシー乗り場。被害者は日本人で、音楽家の63歳男性と会社員の53歳男性。

米側当事者の知人女性がトラブルに遭っていると勘違いしたため、日本人2名に暴行したことが本件の発端、と説明。63歳男性は頭部打撲により脳挫傷を被り、全治3週間の重傷のため現在も入院中。Aは、27日(土)に逃亡のおそれがないとして釈放され、引き続き警察による任意捜査中。重傷を負わせたBは、引き続き勾留中。53歳男性は軽傷の様様。

7月30日、北関東防衛局業務課長から横田基地第374広報部長に対して、規律保持、服務管理の徹底、再発防止、迅速な通報、詳細な情報提供について口頭申し入れを実施。

横田基地所属C-130による部品紛失で 横田基地対策連絡会が口頭要請

横田基地所属C-130による部品の紛失について、横田防衛事務所から、次のとおり情報提供があり、横田基地周辺基地対策連絡会は、口頭要請しました。

【情報提供の内容】2013年7月30日(火)午後8時20分頃訓練飛行を終えた横田基地所属C-130輸送機が帰投後、操縦士が飛行後の定期点検を行ったところ、バッテリーを覆うアルミ製のカバーパネル(8インチ×12インチ:A4の紙程度)の紛失が判明した。飛行中に落下したのかどうか、紛失原因などの詳細は不明。現在、横田基地において紛失原因等を調査中。

【横田基地所属C-130による部品紛失について(口頭要請メモ)】

北関東防衛局横田防衛事務所から、(中略)連絡を受けました。

現在、横田基地において紛失原因等を調査中とのことですが、人口が密集した市街地の近くで発生すれば人名に関わる惨事つながりかねません。こうした事故の発生は極めて遺憾であり、飛行コース直下の住民はもとより、多くの近隣住民に不安を与えるものです。

(以下要約)事故の発生に強く抗議し、状況を十分認識し、下記の対応をするよう要請します。

1. 徹底した原因究明と対策を講じること。 2. 航空機の点検整備の強化、再発防止と安全確保の徹底を図ること。 3. 情報を関係自治体に速やかに提供すること。(2013年8月1日)

横田基地 8月1日午前 羽田空港並みの離着陸 3日朝 KC-135が5機

8月1日、午前、12分間に5機(C12、チャーター機、C130、チャーター機、KC-135)の離着陸で、



羽田並の動きがありました。

8月3日朝、KC-135が5機と、C-5B大型輸送機、そして25日からいるRC-135Sコブラボールが駐機していました。(3日の写真)

◎8月18日(日)は横田座り込み。8月31日(土)は横田基地の撤去を求める会の総会があります。